

「食」に関する グローバルな学際的研究の 魅力と展望

オンライン配信



山形大学は、東北有数の総合大学の強みを生かし、SDGsに貢献する食・農・環境研究拠点の形成を進めています。今回のシンポジウムでは、農学・工学・教育学の3つの視点から、食に関する学際的研究の一端を、拠点メンバー自ら具体的に紹介します。山形の地域性を活かしつつ、世界へとつながる「食」の学際的研究の魅力と展望を探究します。

2021年**3月21日** (日) 13:00～17:00 (予定)

参加
無料

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会挨拶・趣旨説明 プロジェクトリーダー:村山 秀樹教授
- 13:05 **I. 農学の視点から**
「食品メタボロミクス～我々は何を食べているのか～」 及川 彰教授
「フレーバーの観点から食品の美味しさを評価する」 村山 秀樹教授
- 14:05 **II. 教育学の視点から**
「フードリテラシー研究の国際的動向とフレーバー教育の可能性」 大森 桂教授
- 14:45 (休憩・質問回収)
- 14:55 **III. 工学の視点から**
「逆転の発想により実現した米粉100%パンの開発」 西岡 昭博教授
「アルファ化米粉を使ったレシピの開発と普及」 香田 智則准教授
「青果物の輸送用パッケージおよびフレーバーセンサーの開発に向けて」 東原 知哉教授
- 16:15 (休憩・質問回収)
- 16:25 **IV. 質疑応答・統括** 座長:村山 秀樹教授
- 17:00 閉会(アンケート記入・回収)

参加を希望される方は、**3月16日(火)**までに下記のURLまたはQRコードのGoogleFormにてお申込み下さい。

<https://forms.gle/1nwDJFzUzpKDAWqJ9>

前日までにZoomIDを送信します。当日は、Zoom以外にも、YouTubeで同時配信する予定です。
中・高校生、一般の方も、どうぞお気軽にお申込み下さい。

